高生の丘

北九州市立高生中学校
学校通信　１２月号　No.５
発行責任者　校長　木村　康晴
ＴＥＬ　８８１－３２７６
平成２４年１２月２１日発行

■ 充実の２学期が終了。

合唱で盛り上がる、高生中文化祭

１１月３日に行われた文化祭では、自分自身が輝く瞬間を見つけてほしいという願いを込め、「見つけ出す、私たちが輝く瞬間」がテーマになりました。

ステージ部門の見どころは、各学年多くの時間とエネルギーをかけて取り組んだ学年合唱。相部先生の熱血指導に応え、全学年素晴らしい歌声でした。あまりの感動に涙する先生の姿もあったとか。上の写真は３年生が箒やバケツなど様々な道具を楽器にしたリズムアンサンブルです。難しいチャレンジでしたが、さすが３年生。本番は素晴らしい仕上がりでした。これから、学校全体がもっと合唱で盛り上がればと期待を高めています。

展示部門も、生徒の日頃の取組の素晴らしさに驚きの連続でした。右の写真は、１年生の「バルーンアート」です。初めての取組が大好きな１年生は、計画から完成まで苦労があったよう。こんなに素晴らしい作品になるとは正直予想せず、部屋に入った瞬間、「すごい！」と大声で叫んでしまいました。

反省の職員合唱・・・

生徒の発表のレベルの高さと比べて残念だったのが職員合唱。練習不足で申し訳ございません。来年はもう少し頑張りたいものです。驚かされたのは、アンコールで登場したクマザイル。バックダンサー、カッコよく決まっていました。いつ練習していたのでしょうか。

ただ、２回もやるとは思いませんでしたが・・・。

２年生訪問合唱（介護体験での高齢者施設にて）

２年生は、介護体験でお世話になった高齢者施設を訪問し、文化祭で発表した合唱を披露しました。生徒にとっては、高齢者への感謝の気持ちが一層深められたようです。また、高齢者の方々も、生徒たちの訪問を大変楽しみにしていたようで、歌に合わせ手拍子や、感激の涙もあったとうかがいました。

朝のあいさつ運動が広がる

「あいさつが正しくできる人とできない人とでは、将来に大きな違いが出る」と言う人もいます。本校では、生徒会活動のあいさつ運動が継続して実施されていますが、多くの部活動も参加するようになり、少しずつあいさつ運動が広がりを見せています。きっかけは、正門付近の落ち葉の掃除からでした。１０月下旬になると、正門付近の桜の落葉の掃除が忙しくなりますが、これに部活動の生徒が手伝ってくれるようになり、随分楽になりました。その取組の延長であいさつ運動が始まりました。門に入ってくる生徒はまだ照れていますが、ぜひ元気なあいさつを返してください。

高生中の先生情報

下川先生の体育大会での走りを見て、ただ者ではないとは思っていましたが、やはり本物でした。なんと、先日下関海響マラソンに参加し、フルマラソン42.195キロを走破しました。

タイムが、３時間３０分弱。これはすごい。本番までの鍛錬はもとより、体調管理にも大変ストイックに取り組んだようです。目標に向かって夢中に取り組む姿に、感動しました。

理科の松本先生が出産のお休みに入りました。出産予定は２月のようです。元気な赤ちゃんを産んで、また教壇に復帰する日を楽しみに待ちましょう。